

# 平成27年度実施 協働事業 中間報告

## ◆行政提案型協働事業

	事業名	パートナー	担当部署
①	外国籍市民支援放送事業	多文化共生ひらつか情報局	市民部 文化・交流課
②	食品の放射性物質簡易検査	NPO法人ひらつか エネルギーカフェ	市民部 市民情報・相談課
③	感覚統合療法普及事業	ひろげよう子育て支援の会	健康・こども部 こども家庭課

## ◆市民提案型協働事業

	事業名	パートナー	担当部署
①	平塚市立小・中学校運動場、体育館 個人利用促進事業	東海大学地域スポーツクラブ	社会教育部 スポーツ課
②	市内スポーツ情報ポータルサイトの 構築・運営事業	認定NPO法人湘南ふじさわ シニアネット	社会教育部 スポーツ課

平成27年9月

平塚市

# 平成27年度 協働事業 中間ヒアリング調書

平成27年8月13日

事業名	外国籍市民支援放送事業	<input checked="" type="checkbox"/> 行政提案型協働事業 <input type="checkbox"/> 市民提案型協働事業
-----	-------------	---

団体・担当課	団体名：多文化共生ひらつか情報局	担当課：文化・交流課
事業を実施して良かった点・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民活動として長く続けてきた実績のうえに市との協働となり、活動の認識度があがった。イベント等で多くの人から認識されていることを実感し、事業に一層自信が持てるようになった。</li> <li>行政や警察などの広報手段の一つとして活用されている。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 放送内容を平塚市ホームページに掲載</li> <li>② 平塚市の防災情報を多言語で発信</li> <li>③ 平塚市総合防災訓練への協力</li> <li>④ 総合公園利用者への情報発信（3言語）</li> </ol>	<p>協働事業に参加したことで、情報交換や情報共有、お互いの役割の確認ができ、相互理解が進んだ。</p> <p>全てではないが各国の母語を活用し、情報発信することで多くの外国籍市民と係ることができた。</p> <p>事業が評価され防災放送でも活躍することが出来た。</p>
事業実施した上で気づいた課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時の緊急放送マニュアルを作成すること。</li> <li>現在7言語で放送している。今後は各言語のキャスターを複数とする取り組みを進め、更に放送を安定して編成できるよう組織を充実したい。</li> </ul>	<p>事業の素晴らしさは全員で共有できたが、成果を示すことが困難である。</p> <p>多くの仲間を獲得すべく努力をするが、ボランティア要素や専門性が高いことから現在の状態を継続するのが難しくなっている。</p>
課題への改善・解決策の協議内容	母語でキャスターの出来る人を探す。又母語でなくても翻訳の出来る人を探す。	専門性の高い有償ボランティアのため、謝金にかかる割合が多く、賛助会員を増やしたり新たな事業展開を構築する。
事業終了後の具体的な展開	<input type="checkbox"/> 双方で実施（ <input type="checkbox"/> 提案型 <input type="checkbox"/> 提案型以外） <input type="checkbox"/> 団体が単独で実施 <input type="checkbox"/> 行政が単独で実施 <input type="checkbox"/> 今年度で休止または終了 <input checked="" type="checkbox"/> その他（市と連携しながら、事業は団体が継続して実施する）	<input type="checkbox"/> 双方で実施（ <input type="checkbox"/> 提案型 <input type="checkbox"/> 提案型以外） <input type="checkbox"/> 団体が単独で実施 <input type="checkbox"/> 行政が単独で実施 <input type="checkbox"/> 今年度で休止または終了 <input checked="" type="checkbox"/> その他（市は情報提供や連携はするが、事業自体は団体が実施し、自主財源を確保する）
※下欄 次年度以降の展開（事業をどのように活かしていくか等）や、上記の選択項目の補足をご記入ください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>PR活動を継続する。</li> <li>放送に関わる人々及び賛助会員を増やしていく。</li> </ul>	<p>現在の活動を継続し、放送に係る人及び賛助会員を増やす努力をする。</p> <p>FMナパサと連携し、放送事業が拡充されるのを期待する。</p> <p>放送の言語を増やし理解者を集める。</p>
意見交換の内容・その他気付いた点（双方合同で記入）	<p>（上記、各項目で相違点があった場合に話し合った内容や、お互いに意見交換したことなど）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今後も意見交換や情報提供を積極的に行い、連携をはかる。</li> <li>事業のPRを今後も継続して進めていきたい。</li> <li>団体と行政が連携を深めるために、これからも放送現場の見学や交流会を開催する。</li> <li>賛助会員に継続的に支援してもらえよう、事業報告をするなど努力していきたい。</li> </ul>	

※現段階で可能な項目のみ記入してください。

平成27年度 協働事業 中間ヒアリング調書

平成 27年 8月 20日

事業名	食品の放射性物質簡易検査	<input checked="" type="checkbox"/> 行政提案型協働事業 <input type="checkbox"/> 市民提案型協働事業
-----	--------------	---

団体・担当課	団体名：NPO法人ひらつかエネルギーカフェ	担当課：市民情報・相談課
事業を実施して良かった点・成果	本年度の検査結果は全て検出限界値未満であり、安全性が確認された。	8月途中まで実施した検査結果は、青果物、水産物ともに全て検出限界値未満で、安全性が確認された。
事業実施した上で気づいた課題	市民が市場流通品を購入して検査を依頼するケースは少なく、対象が限られた検査になっている。	自家生産品、市場流通品ともに市民からの検査依頼が少ないため、行政購入による限られた市場流通品の検査となっている。
課題への改善・解決策の協議内容	①検査対象の広域化（大磯町） ②家庭菜園や消費者団体等とのコラボ ③講演会や教室の開催による広報強化による検査対象の拡大	①検査対象の広域化（大磯町） ②家庭菜園や消費者団体等とのコラボ ③講演会や教室の開催、市のHP等を活用した広報の強化による検査対象の拡大
事業終了後の具体的な展開	<input checked="" type="checkbox"/> 双方で実施（ <input type="checkbox"/> 提案型 <input checked="" type="checkbox"/> 提案型以外） <input type="checkbox"/> 団体が単独で実施 <input type="checkbox"/> 行政が単独で実施 <input type="checkbox"/> 今年度で休止または終了 <input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> 双方で実施（ <input type="checkbox"/> 提案型 <input type="checkbox"/> 提案型以外） <input type="checkbox"/> 団体が単独で実施 <input type="checkbox"/> 行政が単独で実施 <input type="checkbox"/> 今年度で休止または終了 <input checked="" type="checkbox"/> その他（下記理由により検討中）
※下欄 次年度以降の展開（事業をどのように活かしていくか等）や、上記の選択項目の補足をご記入ください。	・土壌のCs汚染状態は続いているため、特に自家消費作物や野生のものについては検査の継続が望ましく、また安全確保のための市民へのアドバイスが必須。 ・現測定器は行政が検査実施主体でない場合には、消費者庁からの貸与継続は難しく、一方団体だけでは、測定器購入や精度維持管理のための高額な費用を賄うことが困難。	・今年度までに市民が持ち込んだ食品の検査実績、件数は少なく、食品の放射性物質検査への市民ニーズが読み取れない。 ・一方で消費者庁から貸与を受けた測定機器の保守管理費用は、毎年財政的に負担が大きく、費用対効果を考えると継続については慎重な検討が必要。
意見交換の内容・その他気付いた点（双方合同で記入）	（上記、各項目で相違点があった場合に話し合った内容や、お互いに意見交換したことなど） 食品の放射性物質に高い関心を持ち、積極的にこの検査を活用しようという市民ニーズが存在することは双方で確認。食品を持ち込んで検査を希望し、実際に行動に移す市民は非常に少ないのも事実。たとえ少なくともニーズが存在する以上、継続すべきというのが団体の考え。行政としては、公費で行う事業という観点から、市民ニーズの大きさを考慮すべきであるため、慎重に検討したい。	

※現段階で可能な項目のみ記入してください。

平成27年度 協働事業 中間ヒアリング調書

平成27年 8月 19日

事業名	感覚統合療法普及事業 <span style="float: right;"> <input checked="" type="checkbox"/> 行政提案型協働事業  <input type="checkbox"/> 市民提案型協働事業                 </span>	
団体・担当課	団体名：ひろげよう子育て支援の会	担当課：こども家庭課
事業を実施して良かった点・成果	積み重ねてきた遊具の利用や勉強会により、事業所職員の感覚統合についての理解が深まり、子どもたちの行動についての視点が変化していることが感じられる。親子であるあそぼう会では、子どもの遊びから見える感覚の意味への保護者理解を促すことができてきた。	勉強会や講演会を協力して実施することにより得ることができた団体の持つ知識や情報を日常の子どもたちの支援に生かすことができています。また、幼稚園・保育所の保育士向け勉強会に多くの参加があり、感覚統合や発達障がいについての理解をより広めることができています。
事業実施した上で気づいた課題	勉強会を通し、児童発達支援、放課後等デイサービス事業所職員と参加型の内容で顔の見える関係が広がり、会が目標とする支援者ネットワークづくりを進めることはできたが、事業の事前の打ち合わせから運営側に加わる職員は増やせていない。	勉強会の開催にあたり、事業所や幼稚園・保育所により行事や休みの時期が様々であるため、設定した日程によって参加者数に偏りが出てしまうことがある。
課題への改善・解決策の協議内容	勉強会の運営についてはある程度の型ができ、くれよん職員と会所属のOTの打ち合わせで幼稚園保育所職員向けの勉強会の内容について検討しスタートさせることができた。会のメンバーの活動への参加については、それぞれの思いを尊重しながら分担して継続していきたい。	勉強会の内容が固まりつつあるため、同じ内容で複数回の開催をするなど、より参加しやすい方法を検討していきたい。
事業終了後の具体的な展開  ※下欄 次年度以降の展開（事業をどのように活かしていくか等）や、上記の選択項目の補足をご記入ください。	<input type="checkbox"/> 双方で実施（ <input type="checkbox"/> 提案型 <input type="checkbox"/> 提案型以外） <input type="checkbox"/> 団体が単独で実施 <input type="checkbox"/> 行政が単独で実施 <input type="checkbox"/> 今年度で休止または終了 <input checked="" type="checkbox"/> その他（事業ごとに役割分担して継続） ----- 事業所の体験利用と勉強会については、ほぼくれよんだけで運営可能になり、会としては、あそぼう会へのボランティアスタッフとしての参加や、市民向けの講座の開催等を中心に活動していきたい。市民向け講座は、参加費や資料代の徴収で、感覚統合に限らず広い分野の内容で今後も市の後援等受けながら継続していきたい。	<input type="checkbox"/> 双方で実施（ <input type="checkbox"/> 提案型 <input type="checkbox"/> 提案型以外） <input type="checkbox"/> 団体が単独で実施 <input type="checkbox"/> 行政が単独で実施 <input type="checkbox"/> 今年度で休止または終了 <input checked="" type="checkbox"/> その他（事業ごとに役割分担して継続） ----- 団体の持つ知識や情報を得ることができたため、通常実施しているこども発達支援室くれよんの勉強会の内容に組み込むことも可能となった。支援者向けの事業については、行政で担うこととし、市民向けの啓発講演会等については、団体が実施していく方向で、内容は継続して協議しながら進めていきたい。
意見交換の内容・その他気付いた点（双方合同で記入）	（上記、各項目で相違点があった場合に話し合った内容や、お互いに意見交換したことなど） 次年度以降は、双方で役割分担をしてそれぞれの事業を進めつつ、定期的に情報交換を行いながら、可能な部分については協働していくこととした。	

※現段階で可能な項目のみ記入してください。

平成27年度 協働事業 中間ヒアリング調書

27年8月17日

事業名	平塚市立小中学校運動場、体育館個人利用促進事業		<input type="checkbox"/> 行政提案型協働事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市民提案型協働事業
団体・担当課	団体名：東海大学地域スポーツクラブ	担当課：スポーツ課	
事業を実施して良かった点・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民がスポーツを今まで以上に気軽にできるようになったこと</li> <li>・団体の学生が普段学んでいることを実践する場ができたこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅から近距離に運動できる場所ができ、地域住民が気軽に運動やスポーツをすることができたこと</li> <li>・体育学部の学生が指導することで、スポーツへの参加意欲が高まったこと</li> <li>・地域住民のスポーツへの参加意欲の向上</li> </ul>	
事業実施した上で気づいた課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの参加者が集まった時の対応</li> <li>・団体の学生の確保</li> <li>・市民のニーズの把握</li> <li>・団体の学生間の報告連絡相談のあり方の改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生団体としての特質上、人の流動性が高いこと</li> <li>・市民ニーズの把握</li> <li>・市内全域に拡大する方策</li> </ul>	
課題への改善・解決策の協議内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交代制や種目を絞る等の対策</li> <li>・団体の人材確保</li> <li>・利用者へのアンケート調査</li> <li>・団体内での定期的なミーティングの開催や連絡方法の改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材確保のための広報活動（団体）</li> <li>・アンケート調査の実施（団体）</li> <li>・他の団体を巻き込む</li> </ul>	
事業終了後の具体的な展開  ※下欄 次年度以降の展開 （事業をどのように活かしていくか等） や、上記の選択項目の補足をご記入ください。	<input checked="" type="checkbox"/> 双方で実施（ <input checked="" type="checkbox"/> 提案型 <input type="checkbox"/> 提案型以外） <input type="checkbox"/> 団体が単独で実施 <input type="checkbox"/> 行政が単独で実施 <input type="checkbox"/> 今年度で休止または終了 <input type="checkbox"/> その他（ ）  団体の人材が増えていないことなどから、開催場所や回数等の拡大を行わず、現状維持で展開を目指す。 また、開催内容をより魅力的なものに改善していく。	<input checked="" type="checkbox"/> 双方で実施（ <input checked="" type="checkbox"/> 提案型 <input type="checkbox"/> 提案型以外） <input type="checkbox"/> 団体が単独で実施 <input type="checkbox"/> 行政が単独で実施 <input type="checkbox"/> 今年度で休止または終了 <input type="checkbox"/> その他（ ）  団体が単独で実施できるよう、学校のカリキュラムに入れ込む、他の団体を巻き込むなどの方策を考える必要がある。	
意見交換の内容・その他気付いた点（双方合同で記入）	（上記、各項目で相違点があった場合に話し合った内容や、お互いに意見交換したことなど）		

※現段階で可能な項目のみ記入してください。

# 平成27年度 協働事業 中間ヒアリング調書

平成27年8月20日

事業名	市内スポーツ情報ポータルサイトの構築・運営事業	<input type="checkbox"/> 行政提案型協働事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市民提案型協働事業
団体・担当課	団体名：湘南ふじさわシニアネット	担当課：スポーツ課
事業を実施して良かった点・成果	昨年の開発工程から、H27/4月からはポータルサイトの公開運用に入った。市が開発・運用ともによく理解を示し、協働作業は非常に順調に進めることができています。	平成27年4月からサイトの運用が始まり、実際に各スポーツ団体が自らスポーツ情報を発信し、活用されていることを確認することができ、ポータルサイトとしての良い端緒を開くことができた。また、庁内関係課からの情報発信もできた。
事業実施した上で気づいた課題	H27年度は、一般の市民団体の情報整備を進める計画であるが、競技5団体以外のこれらの団体へのアプローチのチャンネルがなく、苦慮している。	平成27年度は、主に平塚市体育協会傘下の各協会加盟チームの情報整備をする計画であるが、情報掲載を希望する団体が思う様に集まっていない。
課題への改善・解決策の協議内容	チラシを作り、機会毎に配布を始めているが、市担当課とともに、地元パートナー団体とも上記対策について検討が必要である。 ・公民館等公的機関でのチラシの掲示・設置。口コミの活用ほか。 ・利用団体の効果事例の抽出	情報掲載の案内チラシを作成し、体育協会傘下の各協会や公共施設での配布を行っている。今後は、活用を希望しそうな団体に個別に声を掛けるなど、能動的に情報掲載団体を探す。
事業終了後の具体的な展開  ※下欄 次年度以降の展開（事業をどのように活かしていくか等）や、上記の選択項目の補足をご記入ください。	■双方で実施（ <input type="checkbox"/> 提案型 <input type="checkbox"/> 提案型以外） <input type="checkbox"/> 団体が単独で実施 <input type="checkbox"/> 行政が単独で実施 <input type="checkbox"/> 今年度で休止または終了 <input type="checkbox"/> その他（ ）  H28年度は、登録団体の更なる推進と、市民の使い易い機能の継続開発を予定。 例・イベントの検索機能、 ・ウォーキング/サイクリングコースマップの掲載、など	■双方で実施（ <input type="checkbox"/> 提案型 <input type="checkbox"/> 提案型以外） <input type="checkbox"/> 団体が単独で実施 <input type="checkbox"/> 行政が単独で実施 <input type="checkbox"/> 今年度で休止または終了 <input type="checkbox"/> その他（ ）  平成28年度以降も市内のスポーツ情報ポータルサイトとして、より多種多様なスポーツ情報の掲載を図る。「市民参加型」のポータルサイトを目指し、市民記者による記事の投稿等、市民目線で魅力的なサイト作りを目指す。
意見交換の内容・その他気付いた点（双方合同で記入）	（上記、各項目で相違点があった場合に話し合った内容や、お互いに意見交換したことなど） 3年目以降の安定運営基盤について、検討を進めている。 広告等の財政の安定を、今から始めていく必要性を議論している。 市民記者による記事の投稿等、新たな市民参加型の手法を検討している。 利用団体より意見を聴取し、改善策を双方で話し合った。	

※現段階で可能な項目のみ記入してください。